

# Studying the abuse expression of 『Golden Lotus』

—the using of abuse expression—

watanabe hirofumi

summary

The words We usually use casually get involved in a lot of elements, for example, social attributes, such as age, gender, and position. What we will say is always effected by those elements. In this article, we will study the using of abuse expressions, and find dimensions or tendencies light up those abuse expressions in the elements which I described as above.

# 『金瓶梅詞話』における罵倒語の研究 —その構造と運用実態について—

渡 辺 博 文

## 1. はじめに

言語の運用方法には、様々なコンテキスト要素が関わっている。例えば、発話参加者の社会的属性である年齢、性別、身分などの要素を挙げることができる。我々の発話行為において、これらの要素は常に我々の発話の内容やその運用方法を制約している。またこれらの要素は時代の変化に従い、それら自身の意味合いも変化しているのである。

本研究の目的は近代中国において、社会的属性が罵倒語を使用する上でどのような影響を与えるか、罵倒語の言語運用レベルにおいてどのような特徴や傾向があるのかを見いだすことである。

近代中国の言語運用のしくみを研究するにあたって、生の会話資料を得るのは不可能だが、当時の日常生活を題材とした文学作品を通じて、言語運用のしくみを考察することは可能である。本論文は、写実的手法で近代中国社会を反映した白話小説『金瓶梅詞話』<sup>(注1)</sup>の罵倒語、主にその使用者と使用対象の社会的属性が特定できるような罵倒語を中心に分析を行う。

## 2. 研究方法

本論文での研究方法は罵倒語の構造を基に、まずその表現タイプを分類する。罵倒語の構造には様々なものがあり、構造が単純なものもあれば、複雑なものもある。誰がどのような罵倒語を使い、どのような方法で使っているかを分析するためには、まずその構造をはっきりさせなければならない。

そこで本論ではこの罵倒語の構造に着目し、その構造上特徴によってそれぞれをグループ分けし、独自の罵倒語の表現タイプとして設定する。それから、これらの罵倒語の表現タイプを罵倒語使用者と対象の性別や身分という社会的属性にそれぞれ振り分ける。そして同性に対しての使用や異性に対しての使用、同等な身分の者に対しての使用や違う身分の者に対しての使用などの項目を立てる。最後に、そこから性別や身分による罵倒語の使用特徴や傾向などを見だし分析する。

## 3. 罵倒語の表現タイプ

曹（1997）では『金瓶梅詞話』の中の罵倒語の多くは、主に“淫婦”“奴才”“王八”“业障”“行货子”“秃厮”などのように短い語彙によって構成されていると分析している。その理由としては、短い語彙は容量が大きく、語彙と語彙の組み合わせが簡単で、語彙と語彙を組み合わせることで、様々な含意や複雑な意味合いを含むことが出来ることを挙げている。

また『金瓶梅詞話』の中では一つの語彙がしばしば他の語彙と組み合わさって、その時に合った用法で使用されている。例えば“淫婦”とい

う一つの語彙には、様々な連体修飾語を付けることによって、様々な意味合いで様々な対象を罵倒することができる。例としては“養汉淫妇”“万不逢好死的嚼舌根老淫妇”“大摔瓜长淫妇”“大紫棠色黑淫妇”などがある。罵倒語使用時に、様々な組み合わせをして新しい表現を作り出すことができる。また同じような語彙を繰り返し使用することは希であり、例えば“奴才”にも“贼奴才”“怪贼奴才”のように様々な語彙による組み合わせがあり、“行货子”にも“傻行货子”“老行货子”のように様々な語彙による組み合わせがある。

このように『金瓶梅詞話』における罵倒語の用例の多くは、さまざまな罵倒語が組み合わせられて出来ている。川島（2003）では罵倒語の構造を三つのタイプに類別している。

① “淫妇” “奴才” “囚根子” などの基本形タイプ。

② 基本形の前に“怪” “贼” “小” “鸟” “秘” などが付く単一連体修飾タイプ。

③ 基本形の前に“没廉耻” “负心的” “葬弄主子的” “狗攘的” などが付く複合連体修飾タイプ。

これは「月娘」が使用した罵倒語を基に類別しているが、恐らく『金瓶梅詞話』の罵倒語は、ほぼこの三つのタイプに当てはまるであろう。しかし川島（2003）では、特にこの罵倒語の表現タイプを基に細かく分析しておらず、基本的な罵倒語を紹介するにとどまっている。そこで本論文では上記の三つのタイプを基に、罵倒語の構造について細かく分析し、表現タイプを以下のようにさらに細分類することにする。（例文の和訳は、すべて小野、千田（1967）による）。

タイプ1：基本的な罵倒語彙による罵倒語で、修飾成分を持たない名詞タイプである。その中でさらに「単一名詞」と「複合名詞」に分けることができる。

a. 「単一名詞」：ある単一の意味を表す罵倒語である。

例語：淫婦、粉頭、王八、奴才、瞎子

例文：西门庆喝令“淫婦，脱了衣服跪着！”

(第12回)「西門慶→金蓮」

(すべた、着物をぬいで地べたにすわれ」と大声にどなりました)

b. 「複合名詞」：単一の意味を持つ名詞が、二つ以上合わさった罵倒語である。

例語：王八羔子、主子奴才、小妇奴才、奴才老婆、狗屎臭尿

例文：金蓮看见，教玉楼“你看，猷勤的小妇奴才！你慢慢走，慌怎的，抢命哩！……”

(第30回)「金蓮→雪娥」

(それを見た金蓮は、玉楼をつつ突いて、「ねえ、ちよつとごらんなさいよ。あの忠勤ぶってるくそ妾め、ゆっくりあるけばいいものを、あわてくさって、韋駄天走り」)

タイプ2：上記の「タイプ1」の名詞に形容詞や動詞などの修飾成分が付く罵倒語である。構造上「タイプ1」よりいくらか複雑になる。その中で修飾成分の性質によって、さらに以下のように「単一形容詞修飾」、「二重形容詞修飾」、「動詞修飾」に分けることができる。

a. 「単一形容詞修飾」：名詞に単一形容詞が付く罵倒語である。

例語：賊王八、小淫婦儿、怪花子、好淫婦、怪行货子

例文：伯爵说道“两个小淫婦儿，这咱才来。”

(第42回)「伯爵→董嬌兒、韓玉釧」

(伯爵は言った「あのすべたども、いまごろやつと、やってきやがった」)

b. 「二重形容詞修飾」：名詞に形容詞が、二つ以上付く罵倒語である。

例語：賊小淫婦、賊瞎淫婦、怪小奴才、賊小奴才、怪小淫婦儿

例文：金蓮说道“你看賊小奴才油手！把我这鞋弄的恁漆黑的！看我教他爹打他不打他。”（第28回）「金蓮→鉄棍児」

（金蓮は言った「まあ、ごらんなさい。あのちびのやつめ、油手であたしの靴をこんなにまっ黒にしちゃったじゃないの。ようし、旦那にあいつをたたきのめしてもらうから」）

c. 「動詞修飾」：動詞によって形成され、ある動作、行為などを叙述する罵倒語である。

例語：杀人賊、养汉老婆、放屁、胡说

例文：西门庆大怒，骂道“众生好度人难度，这厮真个杀人賊！我到见你杭州来家，教你领三百两银子做买卖。如何夤夜进内来要杀我？……”（第26回）「西門慶→来旺児」

（西門慶は大いに怒って、どなりつけた「衆生は度しやすく人は度しがたい。こやつ、ほんとうの殺人強盗だな。おれはお前が杭州からもどって来たので、三百両出してお前に商売をさせてやろうと思ったのに、どうして、この深夜、中へは行って来ておれを殺そうとしたのだ。」）

タイプ3：罵倒語に形容詞や動詞が付く短文形式の罵倒語である。その中でさらに「形容詞修飾句」、「動詞修飾句」、「動詞、形容詞混合修飾句」に分けることができる。

このタイプは、罵倒語に一番工夫を施されたタイプであると言えるだろう。様々なマイナスイメージを意味する語彙や動詞、形容詞が組み合わせている。

a. 「形容詞修飾句」：名詞に形容詞が付く短文形式の罵倒語である。

例語：奸倭的淫婦、不贤良的淫婦、小狗骨秃儿的鬼、賊油嘴的囚根子

例文：骂道：“賊油嘴的囚根子，俺每都是没仁义的。”

(第62回)「金蓮、玉楼→伯爵、謝希大」

(罵って言った「このずるい悪党め。わたしたちはみんな情け深くないんだね」)

b. 「動詞修飾句」：名詞に動詞が付く短文形式の罵倒語である。

例語：没廉耻的货儿、合昏了你这淫妇、成精的狗肉、没见食面的行货子

例文：说道“没廉耻的货儿！那奴才淫妇想他汉子上吊，羞急拿小厮来煞气。关小厮另脚甚事！” (第26回)「金蓮→西門慶」

(言った「この恥じ知らず。あなたはかりにもこの家のあるじですよ。あのすべたは、自分の亭主恋しさに、ぶら下がったんじゃないの。恥ずかさのあまり、小者をとっつかまえて荒れだすなんて…小者なんかじゃ、なんのかわりもありゃしないわよ」)

c. 「動詞、形容詞混合修飾句」：ある表現に動詞、形容詞が共に付く短文形式の罵倒語である。

例語：贼没行止的狗骨秃、贼天杀的狗材、好养汉的淫妇、贼胆大万杀的奴才

例文：妇人道：“可又来，贼胆大万杀的奴才！怎么恁把屁股儿赖待动弹！我知道你在这屋里成了把头，便把你恁久惯牢头，把这打来不作理。” (第58回)「金蓮→秋菊」

(婦人は言った「そうともさ。なんて凶太い、罰当たりなやつなんだろう。そうして、そんなにお尻が重い。お前はこの部屋でお殿様にでもなったのね。お前がこんなにいけ凶々しくなったからには、ぶってやらなくちゃ、理屈に合わないよ」)

タイプ4：ある表現に形容詞や動詞を備わっているが、上記のどのタイプにも当てはまらない罵倒語である。その中でさらに「省略

型表現]、「慣用表現」に分けることができる。

- a. 「省略型表現」：ある表現の被修飾部が「的」によって形成された罵倒語である。

例語：賊负心的、贼天杀的、皮脸没的、狗秃的、贼瞎贱磨的、胡枝扯叶的

例文：春梅道“皮脸没的。打污浊了我手，娘只教他顶着石头跪着罢。”

(第29回)「春梅→秋菊」

(春梅は言った「こんな皮の厚い面をひっぱたいって、あたしの手をよごすだけだわ。奥さま、こいつの頭に石をのっけて、ひざまずかせたがようございますよ」)

- b. 「慣用表現」：表現の型式が決まっており、慣用的な意味合いを持つ罵倒語である。

例語：胡说白道、胡言乱语、犬马之言、六说白道、骗口张舌

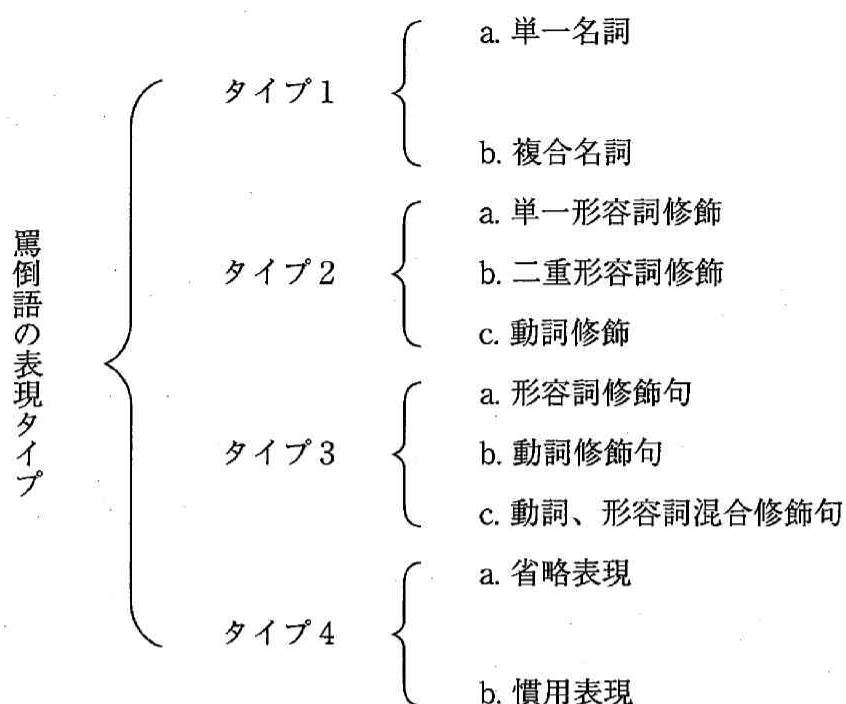
例文：月娘听了，心中大怒，骂道“云离守，谁知你人皮包着狗骨！我过世丈夫，不曾把你轻待，如何一旦出此犬马之言！”

(第100回)「月娘→雲離守」

(それを聞いて、月娘は心中大いに怒り「雲離守、あなたは人の皮をかぶった犬の骨だったのね。死んだ主人は、あなたにわるくしなかったはずよ。いまさらどうしてそんな犬畜生のようなことをいうの？」)

以上のように『金瓶梅詞話』の罵倒語を、上記のようなタイプ別に設定することができる。このことから分かるように、罵倒語には実に多くの表現タイプがある。そして設定した表現タイプを下記の図表のように示すことができる。





以上のように罵倒語のタイプを設定してきた。これからは、罵倒語使用における性別や身分の特徴及び傾向などを見ていきたい。

#### 4. 性別の違いからみた罵倒語

男性と女性には外見の違いがあるように、その言葉の使用にも違いがある。女性には女性らしい言葉の使い方、男性には男性らしい言葉の使い方がある。フィリップ（1987）によれば、女らしさは連帯感、表現性、養育そして連携などに結び付けられ、男らしさは行動性、役に立つこと、支配そして統御などに結び付けられている。

ここでは罵倒語を使用する上で、男性と女性は一切どのような違いや特徴、傾向があるのかをみていく。まず「使用者が女性で対象も女性」、「使用者が女性で対象は男性」、「使用者が男性で対象は女性」、「使用者が男性で対象も男性」という四つの項目を作る。そして上記に設定した表現タイプをこの四つの項目に当てはめ、そこに現れた特徴や傾向を見

いだし分析する。その結果、表現タイプや罵倒語において、性別との間に幾つかの特徴や傾向が見られた。（「付録：罵倒語の表現タイプ別表」を参照。）

(1) 先ず最も顕著なことは、罵倒語を使用する発話行為は男性よりも女性の方が多傾向が見られた。特に罵倒対象が男性の場合に、この特徴が顕著である。また女性は男性に比べて、特にタイプ3のような構造上複雑な短文型式の罵倒語をよく使用する傾向がある。

田中（1996）によれば言葉の使用上、女性は表現と色付けを与え、多様性に富んだ長めの発話を好む。一方、男性の表現は断定的で必要最低限の言葉で済ませようとする傾向があるとされている。つまり女性と男性が使用した罵倒語においても、この傾向が現れているのである。女性は罵倒語において、男性よりも表現が豊かなタイプや付加価値を増したタイプを好み、罵倒対象が男性であればその使用が一段と増える。男性の罵倒語の少なさについては、自分の社会的ステータスを保つため、そして教養を示すための手段として、必要最低限の罵倒語しか使用されていないためであると思われる。その証拠に男性の罵倒語タイプは、ほとんどが単純な構造であるタイプ1と2に集中しているのである。つまり、男性が使用した罵倒語は、女性よりも断定的で簡潔な表現タイプになっていると言える。

(2) 罵倒対象が女性と男性では、その罵倒語の使用傾向が違う。対象が男性では、相手の愚かさや命、威厳を脅かすような表現が多く使用されている。東（2001）によれば多くの男性にとって相手と話しをすることは、自分の持っている知識、技術、情報を相手に見せることによって、自分の社会的な立場を守ったり、改良したりすることになる。つまり男性に対しての罵倒語の使用は、男性が重要視している「知識、技術、情報を相手に見せる」というものを攻撃する傾向にあると言える。

男性に対して使用した罵倒語の中で、どの表現タイプにおいてもこのような傾向が現れていて、特に女性が男性に対して使用したタイプ4においてこの傾向が顕著に現れている。このタイプの罵倒語のほとんどが、相手男性の発話、行為、性質を否定し、侮辱している。

対象が女性の場合では、貞操観念を反映した性的な意味を持つ表現が多く見られている。使用者が男性と女性において共に、この傾向が顕著に現れている。その他にも、女性の生殖器を意味する語彙が含まれた罵倒語も多く見られた。また“髻鬚合的、直我髻鬚”というような、男性の生殖器を意味する語彙で、性的行為を表現する罵倒語も見られている。その他、男性に対して使用される罵倒語の中に、対象の女性親族を性的な意味で侮辱するものも多く含まれている。フィリップ（1987）によれば、我々は女性に対して「連帯の技量の調整を必要とする領域を占めることが期待される」とある。このことから女性に対する罵倒語の多くは、家族や人々との連帯の調整を脅かすものが多用されていることが見て取れる。

この女性に対する罵倒語の特徴は、古来より男尊女卑という社会背景の下で、女性に対して強く貞操観念を求めてきたからであろう。もし女性がこの貞操を破ったとなれば、家族内における様々な連帯関係が即座に壊れ、修復不可能になる。しかし男性が貞操を破っても、このようなことは起こらない。このことからみても、女性は家族内において「連帯を調整する」重要なポストにいたることが分かる。つまり貞操観念を反映した罵倒語を用いて女性を侮辱するということは、その家族内における連帯の破壊を望んでいることが窺える。

この男性と女性に対する罵倒語の傾向は、渡辺（2005）においても同じような結果が出ており、このことから次のようなことを主張することができる。近代中国において男性に対しては、知能や能力、血筋、生死、

威厳など男性に対する典型的な観点から作り出された罵倒語を使用する。つまり、対象の内面的な性質そのもの、また男性としてのあるべき姿という意識による罵倒語が多用される。他方、女性の身分の低さから、女性を軽蔑する語や売春婦を指す語が多く、女性を性の対象としてみる傾向がある。このことから女性に対しては、貞操観念や社会的規則の意識を反映した、罵倒語が多用されることが窺える。

(3) “淫婦”と女性生殖器名称を持つ“糞臉弾子”が男性に対して使用している。“好淫婦”と“淫婦”の二種類の罵倒語が、共に玳安が書童に対して使用している。この書童は小説の中で「陰間、男娼」として描かれている場面があり、また登場人物の多くもそれを知っていた。このことから書童に対して“淫婦”と罵倒しても容易に理解できるだろう。

女性の生殖器名称を持つ“糞臉弾子”が、男性に対して使用されていることについては、渡辺(2005)の中でも三例を挙げている(注2)。そしてことについて、次のように説明している。“屎”を男性に対して使用している時は、相手の男性が「女性に遊ばれる、虐められる、女々しいことを言う、駄々子をする、嫌味らしい事を言う」というように人々に認識されている男性としての言動、行為と正反対である。このことから男性らしくない言動、行為をした男性に対してこの“屎”が使われることが推測される。このことを踏まえて、「金瓶梅詞話」の例文を見てみよう。(この“屎”と“糞”は同義語である。)

①说道：“怪倒路死的囚根子！昧了那黄汤，挺你那觉受福。平日惹老娘骂你那糞臉弾子！”  
(第二十五回)「惠蓮→来旺兒」

(この野たれ死にする悪党め、あの黄色い水をたらふく食らったら、さっさと寝ちまうもんだよ。むやみにこのおかみさんをどならせたりして、あんたったら、とんだお天気屋だよ)

この“糞臉弾子”が使用された状況は、来旺兒が酒を飲み酔いつぶれ

て家に帰ってきたところから始まる。来旺児は外で、妻である恵蓮が西門慶と浮気していると告げ口されたのである。家に帰ってきて見覚えのない反物があることに気づき、そして酒の力を借りて妻に問い詰めた「どこの緞子だ。誰がくれたんだ。さっさと本当のことをいえ」。妻はこれに対して「これは奥のかたが、あたしにくださった緞子なのよ」と答えた。来旺児はさらに続けて「この髪飾りはどこから持ってきたんだ」というように、さらに問い詰めたのである。余りにもしつこく問い詰めるので、恵蓮はとうとう我慢できず罵倒し始めた。二人は口論となり、そして来旺児は恵蓮に殴りつけたのである。最終的に来旺児は恵蓮に言いくるめられ、妻を信用し「お前にそんな覚えがなけりゃ、むやみに人に当たり散らすこともないやな。早く蒲団を敷いて寝かしておくれ」と言ってイビキをしながら眠りについた。このような一連なことがあって、恵蓮が上記の例文を口にしたのである。

このように「しつこく」同じような事を何回も問い詰め、酒の力を借りて暴力を振るう。嘘ではあるが最終的に言いくるめられ、自分にとって都合が悪くなると何もなかったかのように振る舞い、眠るという行為を借りて逃げたのである。このような行為は「男たるもの」としての行為から、かけ離れていることを想像できよう。この例文からも男性を女性の生殖器に喩えて罵倒するということは、男性らしくない言動、行為をした場合に使われることが推測される。

男性に対して女性特有の語彙をもって罵倒する例は、見つかっている。例えば上記の“秘臉弾子”、渡辺（2005）の“尻毛”“尻”“尻本事”がある。しかし女性に対して、男性特有の語彙でもって罵倒するという例はまだ見つかっていない。『金瓶梅詞話』で男性が女性に対して“髻鬚合的、直我髻鬚”という罵倒語を使用しているが、この場合の男性生殖器に対しての主体は男性自身であり、女性は生殖行為の受身となってい

る。上記の例文①のように相手の男性を女性生殖器そのものに喩えているのに対し、この“髻鬚合的、直我髻鬚”という二つの罵倒語は、決して女性を男性生殖器に喩えていないのである。

(4) “花子”は男性に対してしか使用されていない。この“花子”の意味は「物乞い、物もらい」の意味であり、特に男性的な意義を含んでいるというわけではない。にもかかわらず『金瓶梅詞話』の中では、そのすべてが男性に対してしか使用されていない。“花子”を含む例語は以下のものがある。

女性が男性に対して使用：花子（12回）、怪花子（3回）、怪应花子、怪岑花子、王八花子、贼花子（3回）、老花子（2回）、汗邪了你这花子、怪讪脸花子、汗邪你这贼花子

男性が男性に対して使用：花子（5回）、怪花子（2回）、贼花子（3回）、俊花子（2回）、少死的花子（2回）、贼雌饭吃花子合的

《漢語大詞典》によれば“花子”は“乞丐”（物乞い、物もらい）を意味する。馮・常（2002）では“乞丐”について「貧困或いは労働能力を失い、物乞いをして生活する者。…。彼らは物乞いをする卑しい者ではあるが、身分は平民に属している（注3）。早く明代から人々に次の様に言われている。“倡、優、隸、卒は賤民ではあるが、乞丐はそれらに属さず、ただ金がないだけである。”」と説明している。

古代中国では財産はすべて男性の所有物であり、女性は男性から生活費を貰い、衣服や装飾品も買ってもらうものである。そうすることで男性は権力を維持することができ、そして女性に対して或いは社会に対して威厳を示していた。このことから「物乞い、物もらい」の意味である“花子”を対象の男性に対して使用することで、相手の権力や財力を否



定することになることが想像できる。権力や財力を否定されることで、必然的にその男性の威厳をも否定することに繋がる。女性はもともと権力や財産を持たないことから、この“花子”を使用しても意味がないため、使用されていないと推測される。またこのことから、上記(2)で述べた男性に対して使用される罵倒語の傾向性を見て取れるだろう。

(5) “肉儿”が付く罵倒語は、女性に対して使用する傾向があり、またその使用者は女性の割合が多い。その例語は以下のものがある。

女性が女性に対して使用：怪小肉儿、小肉儿（5回）、賊小肉儿（5回）、  
怪小狗肉儿、怪堕业的臭肉儿

女性が男性に対して使用：賊小肉儿

男性が女性に対して使用：賊小肉儿

この使用状況を見る限り、この“肉儿”が付く罵倒語は女性に対して使用する傾向にあることが分かる。この“肉儿”の意味は「骨肉のように愛するもの、いとし子」というものである。親身感を思わせるような意味となっていることが見て取れる。この意味からも、この語彙は男性に対しての使用はあまり用いられず、女性が女性に対して使用される傾向が強いことを見て取れる。

## 5. 身分の違いからみた罵倒語

言語の使用は常に様々な外的な要因によって影響されている。ここでは、社会的属性である身分が罵倒語与えた影響について分析する。本論文での身分設定は、経済力や官職、爵位、称号などを有する地位のある人及びその家族の人を「上位身分」とし、それらの地位を有しない一般市民や使用人など地位の低い人たちを「下位身分」とする。さらに性別の要素についても考慮して分析を行った結果、以下のような特徴や傾向が

見られた。(「付録：罵倒語の表現タイプ別表」を参照。)

(1) 上位身分の女性は上位身分の女性に対して、あまり罵倒語を使用しない傾向がある。一方下位身分の女性に対しては、実に多くの罵倒語が使用されている。これは、恐らく女性の発話の傾向と関連していると思われる。

女性はお互いの発話を認めその上に立って話を展開させようとする傾向がある。つまり女性は連帯感と支持に基づいた関わりかたを求めるようである<sup>(注4)</sup>。要するに同等な身分の女性同士においては連帯感という仲間意識が強く、その発話に対してお互い認め合い、あまり反論しない傾向にあると言える。身分的な立場上、下位身分の女性に対して特にこの連帯感を作り出す必要性がないことから、罵倒語が多用されていると思われる。これは上位身分の女性が上位身分の男性と女性に対して、使用した罵倒語の違いからも見て取れる。すでに分かるよう、圧倒的に上位身分の男性に対して使用した罵倒語の数とその種類が多いのである。つまりこれは、下位身分の女性に対するのと同じように、男性に対しても連帯感や仲間意識を作り出す必要性がないためであると思われる。

身分の立場上、下位の者が上位の者に対して、罵倒語を使用したくても容易に口に出せないため、残念ながら下位身分の女性の立場からこのような比較ができない。

(2) 上位身分の男性は対象男性の身分に関係なく罵倒語を使用し、その罵倒語の種類とその数には目立った違いがない。上記でも述べたように女性にとっての会話は、対象と共通の体験や考えを示し、居心地のいい雰囲気や親密感を作り出すことにある。一方男性にとっての会話は、自分が持っている知識、情報、能力を相手に見せることで、自分の社会的立場を保持や改善することにある<sup>(注5)</sup>。つまり男性は会話において、女性のように連帯感や仲間意識などを示す傾向はなく、自分の社会的立



場に重点をおく。それが同等な身分の男性に対しても同じであり、常に自分の社会的立場を守ることを重要視する。そのため会話においては、自分の主張を表明し相手にもそれを求める傾向がある。このことから、男性は会話において自分の社会的立場が脅かされる時は、対象の身分に関係なく罵倒語を使用する傾向があると推測される。

(3) “花子”が付く罵倒語は上位身分の男性に対して使用される傾向がある。4. (4) で述べたように、この“花子”は男性に対してしか使用されていない。その対象男性の身分を見てみると、41例の中で下位身分の男性に対しての使用は2例しかなく、その他すべてが上位身分の男性に対して使用されている。これはもともと権力や財力を持たない男性に対して、それらを脅かす罵倒語を使用してもさほど侮辱にならないためにあると思われる。つまりこの“花子”が付く罵倒語の使用状況は、権力や財力を持つ男性に対して使用されていると言える。

(4) “合你娘”（お前のお袋を犯す）の意味をする罵倒語においては、下位身分の男性が上位身分の男性に対して使用する傾向がある。その罵倒語には以下のものがある。

下位男性が下位女性に対して：合你淫妇娘

下位男性が上位男性に対して：合你道士秫秫娘、我合你娘的眼、合你娘眼、合你娘

この「お前のお袋を犯す」の意味の裏には、「俺がお前のお袋を犯して、そしてお前が生まれたのだ」、「お前は俺の息子である」または「お前は、お袋の不貞によって生まれたのだ」が含意される。このような表現は、対象とその母親を同時に侮辱する効果がある。

この表現の使用状況から、次のようなことが想像される。身分において既に対象に劣っている下位身分の男性が、このような罵倒語を使用することで対象との“輩份”（長幼の序列）上で勝ろうとしている。なぜ

なら中国においてこの“輩份”は非常に重要なものであり、対象の“輩份”に対して相応しくない表現（対象の“輩份”よりも下のものに値する表現）を用いた場合は、即ち対象を侮辱することに繋がるからである。

(5) 下位身分の女性は上位身分の男性に対して、“攘刀”が含まれる構造の罵倒語を使用する傾向がある。その罵倒語には以下のものがある。下位女性が上位男性に対して：怪攘刀子（3回）、怪攘子刀的（2回）、

怪刀攘的、不得人意的攘子刀的、攘刀子  
的

この“攘刀”の字義的意味は「刀に刺される」である。このことから窺えることは、下位身分の女性は上位身分の男性に対しては、物理的な力を借りて対抗しようとする特徴を持っている。これは身分や力において共に男性に劣る話者が、自分の力だけでは対象に勝ることができず、自分の力を何倍も増幅させられる物理的なものを用いて対抗しようとする意識が働いたからであろう。ここで、上記（4）のような罵倒語を用いても良さそうだが、それは女性にとっては不可能に近い。なぜなら、上記のような表現方法を用いたら、即ち自ら自分が不貞であることを認めるのと同じことである。『金瓶梅詞話』において女性が直接対象を自分の子供に喩える表現はあるが、上記（4）のような表現方法はない。ちなみに、直接自分の子供に喩える表現には“我的儿”“我的孩子儿”などがある。この点においては、上記（4）の“輩份”の部分と通じるものはあるが、この表現方法には性的な意味合いは含まれていないのである。

## 6. まとめ

以上のように、『金瓶梅詞話』の罵倒語の研究と分析を通じて、顕著

に現れたものを以下のようにまとめることができる。

男性に対しては「知能や能力、血筋、生死、威厳」などを貶す罵倒語が多く、女性に対しては「貞操や性倫理観点または社会的なルール、規則」に対する意識を反映した罵倒語が多用される。またその罵倒語の裏には、女性に備わっている「連帯を調節する力」を無力なものにしようとする、罵倒語使用者の企みが付随していることも窺える。

そして今回の研究においては、罵倒語は男性より女性のほうが多用し、対象が男性の場合になるとその使用がさらに顕著になる。使用された罵倒語は、女性のほうが男性よりも多様性に富み、より表現豊かな表現タイプとなっている。女性は同等の女性対象に対して連帯感や仲間意識を重要視する傾向にあることから、身分のある女性同士では罵倒語の使用が少ない傾向にあることが見受けられる。しかし、男性は会話において自分の社会的地位を守る傾向があるため、自分の社会的立場が脅かされる時は、対象の身分に関係なく罵倒語を使用する傾向がある。また男性が使用する罵倒語は、女性のものと比べて簡潔的で、断定的な表現タイプとなっている。

また“花子”が付く罵倒語では、その対象はすべてが男性となっている。語彙の意味と使用状況から、この種の罵倒語は、相手の権力や財力を否定すると同時に威厳をも貶していることが分かる。しかも、罵倒対象者のほとんどが身分の高い者である。

以上『金瓶梅詞話』の会話資料の分析を通して、近代中国語の罵倒語における運用上の特徴や傾向の一側面を明らかにした。

## 注

注1) 本論文の罵倒語の用例はすべてテキスト『金瓶梅詞話』(増你智文化事業有限公司出版1980年)によるものである。

注2) 渡辺 (2005) で女性生殖器を男性に対して使用した三つの例文は以下のものである。

〔柳氏〕笑道：“别讨我把你头上的杓子盖似的几根屙毛捋下来！”→小厮（第61回）

これは柳氏が使用人に対して使ったものである。この使用人の性格は小説の前後の内容から「物をねだる、子駄々子をする、嫌がらせをする」と男性が普段しないようなことをして、柳氏の機嫌を損ね罵られたものである。

〔鮑二の妻〕骂道：“叫不叫，与你屙相干……。”→鮑二（男性）（第65回）

これは鮑二が酒を飲んでいたら、女中が来て酒を飲みたいと言い、これに対して、鮑二は「自分の妻の傍で仕えていないと、また文句を言われるぞ」と嫌味たらしく言った。これに対して彼の妻が“屙”を使って罵ったのである。

〔趙姨娘〕指贾环道：“你没有屙本事，我也替你羞。”→贾环（第60回）

これは賈環が女性達に「虐められ、遊ばれ」たことに対して、趙姨娘が賈環に言ったものである。

注3) 馮・常 (2002) によると「平民」とは、特権はないが、また賤民でもない人を指すと述べている。それらには「地主、商人、農民、手芸職人、雇用労働者、僧侶」などを挙げている。

注4) ジェニファー (1990) P132 参照。

注5) 東 (2001) P85 参照。

## 参考文献

小野 忍、千田九一訳. 1967. 『金瓶梅』（上、中、下）. 平凡社

川島優子. 2003. 『金瓶梅』罵語考—呉月娘の罵語について—. 『中国古典小説研究』第8号

漢語大詞典編輯委員会. 1992年. 『漢語大詞典』. 漢語大詞典出版社

真田信治、渋谷勝己、陣内正敬、杉戸清樹. 2000. 『社会言語学』. (株)おうふう

ジェニファー・コーツ. 1990. 『女と男とことば』—女性語の社会言語学的研究—. (吉田正治 訳) 研究社印刷株式会社

曹 焯. 1997. 『金瓶梅』文学語言研究. 江蘇教育出版社

田中春美、田中幸子編著. 1996 『社会言語学への招待』—社会・文化・コミュニケーション—  
ミネルヴァ書房

東 照二. 1997. 『社会言語学入門』—生きた言葉のおもしろさにせまる— 研究社出版株式会社

- 馮 尔康・常 健華. 2002. 『清人社会生活』. 瀋陽出版社
- フィリップ・M・スミス. 1989. 『言語・性・社会』. (井上和子訳) 大修館書店
- 彭 国躍. 1995. 『金瓶梅詞話』の「年齢質問」発話行為と敬語表現—社会言語学的アプローチ—. 『言語研究』第108号. 日本言語学会発行
- 渡辺博文. 2005. 『紅樓夢』における罵倒語の類型と意味. 『人文研究』第156集. 神奈川大学人文学会

## 付録：罵倒語の表現タイプ別表

表示する順番は、まず使用者が「女性で対象も女性」、「女性で対象は男性」、「男性で対象は女性」、「男性で対象も男性」の順番とする。さらにこの四つの項目に使用者が「上位身分で対象も上位身分」、「上位身分で対象が下位身分」、「下位身分で対象も下位身分」、「下位身分で対象が上位身分」の身分的要素を加え、そして罵倒語を表現タイプ別に振り分ける。身分については「上→上」、「上→下」、「下→下」、「下→上」で表すことにする。また「表現タイプ」は「T」で表し、罵倒語の使用回数は「x回数」で表す。

## ●使用者が女性で対象も女性

		上→上	上→下	下→下	下→上
T1	a. 単一名詞	粉頭、老婆、死鬼、狐狸精、淫婦 x15、行貨子 x2、驴畜、老娘 x2、丫头 x3、奴才 x2、歪刺骨、毳窟砣、瞎子	狗肉 x2、老货 x2、老毯、淫婦 x27、奴才 x15、小鬼、蛔虫、混话、粉头、老婆 x4、毳娘、贱人、臭蹄、毳大婶、搔刺骨 x2、小肉儿 x5	娘、奴才 x6、祸根、淫婦 x11、名妓、行货、业障、搔刺骨、瞎妇	贱人 x2、奴才、老娘 x2、狐狸、淫婦 x2、歪厮
	b. 複合名詞	小妇奴才 x2、毳声浪類	奴才淫婦 x9、贼头鼠脑、牢头淫婦、主子奴才、小妇奴才、奴才老婆 x3、小眼淫婦、狗屎臭尿、牢头祸根淫婦	业障丫头子、淫婦丁子钉	淫婦奴才 x4、奴才小妇、王八羔子
T2	a. 単一形容詞修飾	麻淫婦、小淫婦、贼淫婦、好淫婦、怪行貨子、好奴才、贼奴才、怪行貨、泼脚子貨、贼强盗	贼淫婦 x13、怪淫婦、老淫婦 x3、小淫婦 x2、小淫婦儿 x2、瞎淫婦、好淫婦、怪狗肉 x2、贼狗胎、贼狗肉、老行貨子 x2、怪老货、好秃子、怪臭肉、贼臭肉 x9、老浪货、傻孩子、怪行貨子、贼奴才 x16、贼搔	怪淫婦、浪淫婦、贼瞎婦、老淫婦 x2、贼泼婦、小淫婦儿、小淫婦、贼淫如 x5、贼伤奴、贖脸彈子、小奴才、汗邪了、贼奴才	浪淫婦、浪精毳

			刺骨、小贱人、小老婆、小奴才儿、怪小肉儿、贼小肉儿 x5、秘闲着、贼臭肉们、贼淫妇奴才、贼奴才淫妇 x4		
	b. 二重形容詞修飾	泼贼淫妇、好大胆丫头	贼小淫妇、怪小淫妇儿、贼瞎淫妇、好贼奴才、怪小狗肉儿、大紫腔色黑淫妇、好娇态淫妇奴才、小贼掙刺骨、贼活人妻淫妇	贼浪奴才、贼小奴才、怪小淫妇儿 x2、干净俊丫头	万奴才千奴才
	c. 動詞修飾	撮臭、合搗、成精死了、贼不识高低货	涨强嘴、养汉淫妇、养汉老婆、养汉子、扯秘淡、胡说、歪辣骨待死、奴才骨朵痒了、大摔瓜长淫妇、长大摔瓜淫妇	养汉、穿寺院、养和尚、合道士、吊嘴说、合淫妇、扯臊谈、葬送主子、成精奴才、老淫妇独吃	养奴才
T3	a. 形容詞修飾句	奸倭的淫妇、贱不识高低的货、贼淫妇的秘脸、不贤良的淫妇	嘲汉的淫妇、汗邪了那贼老淫妇、贼少死的奴才	怪浪的淫妇、老淫妇的鬼、贼少死的囚奴	不贤良的淫妇
	b. 動詞修飾句	没心的货子、不长俊的行货子、没廉耻的货、没廉耻的歪淫妇	成精的肉们、没廉耻的货、没廉耻的淫妇、成精的狗肉	见鬼的奴才、没见食面的行货子、张眼露睛奴才、合昏了你这淫妇、抢棺材奔命哩	没的扯秘淡、偷我的汉子
	c. 動詞、形容詞修飾句	好成精的老婆、没廉耻弄虚牌的臭娼根	贼狗攘的养汉的淫妇、贼葬主子的奴才、好养汉的淫妇、贼彼家误五鬼的奴才、贼没廉耻的雌汉的淫妇、贼万杀的奴才、贼胆大万杀的奴才、怪堕业的臭肉儿	贼见鬼的奴才、贼合遍街搗遍苍的贼瞎妇、贼说话的奴才、淫妇吃那野汉子捣昏了、贼狗攘的瞎淫妇	贼不逢好死的淫妇、贼嚼舌根的淫妇、贼作死的短寿命
T4	a. 省略表現	没廉耻的、贼成精的、可成人养的	歪蹄泼脚的、狗秃的、贼瞎贱磨的、胡枝扯叶的、啻啻磕磕的、贼掙刺骨雌汉的	鬼窜搭的、皮脸没的、狗挝了脸似的	
	b. 慣用表現	没人仁义、不逢好			



	死			
--	---	--	--	--

## ●使用者が女性で対象は男性

		上→上	上→下	下→下	下→上
T1	a. 単一名詞	鸟嘴、老妇、贼牢、老娘 x7、三寸货 x2、厮、行货子 x8、短命 x3、尿包种 x2、种子、温蛮子、花子、东西、驴耳朵、馗货、羔子、臭屎、辣骚、蛮子	钻子、奴才 x24、王八 x8、贼囚 x4、贼、厮 x7、忘八 x2、货子、老娘 x3、臊子、蛔虫、囚根子 x10、鸟事、勾使鬼、鑷鎗头、小厮 x2	贼囚 x7、王八 x7、怪囚、厮 x4、老娘 x16、贼秃、秃厮 x2、贼眼、傻才、杀才、囚、猴子、捣子、矮子、老狗、淡扯、贼、忘八 x2	屎口、怪物、捣鬼、花子 x11、蛇蚤儿、贼、你娘 x2、小厮 x2
	b. 複合名詞	尿包子种子、王八羔子、蝗虫蚂蚱、魍魎混沌、烂桃行货子 x2	忘八舅子、王八花子、混沌东西、奴才屁股门子、屎屁股门子、混沌魍魎	光棍捣子、杀才捣子、老狗骨头、王八灵圣儿	
T2	a. 単一形容詞修飾	怪砣货、怪奴才 x3、火行货子、傻行货子、怪行货子 x7、老花子、贼囚根子 x5、好囚根子、贼强人 x3、怪强盗、小短命、贼短命 x7、怪短命 x5、好短命、砣短命、贼花子、贼负心、怪行货、贼才料、贼鼠脑、浊坏料、好傻子、傻材料、怪呆子、泼才料、贼三寸货强盗	贼王八 x4、傻王八、小王八子 x3、死王八、贼根子、贼囚根、贼囚根子 x14、欺心囚根子、怪囚根子 x2、肉佞贼、贼狗囚、蛮奴才、小奴才 x4、毛奴才、怪奴才、欺心奴才、贼奴才 x4、浊东西、贼混沌、浊材料、贼混沌虫、贼小肉儿	贼和尚、秃和尚、短寿命、贼囚根子 x6、怪贼囚 x2、贼黑囚、好贼囚、怪囚根子 x5、死囚根子、贼王八 x5、小王八子、贼祸根子、贼杀才、老猪狗、老油嘴、老苍根、老粉嘴、老花根、老奴才、小猢猻 x2、怪雌牙儿、小奴才儿、小囚儿、怪猴儿、贼猴儿 x2	老花子、怪花子 x3、贼花子 x2、怪应花子、怪行货子、砣短命、丑冤家怪物、汗邪了、贼猴儿
	b. 二重形容詞修飾	蠢贼奴才、怪贼囚根子	贼小奴才 x2、怪贼奴才 x2、贼蛮奴才、贼小囚儿、怪小囚儿、怪贼小奴才	怪贼黑囚、贼小蛮囚儿 x3、怪小短命儿、雌牙鬼囚根子、贼汗邪囚根子	怪老油嘴、怪岑花子、好大面皮儿
	c. 動詞修飾	合捣 x3、鬼混、揩溜子、燎腿行货子、放屁耍汗邪、没廉耻 x3、雌饭吃、外头挺去、没	不识时浊物、扯臊淡	放屁 x2、贼见鬼、舍鸟小猢猻 x2、贱没廉耻	怪攘刀子 x3、怪讪脸花子



		廉恥货、狗油嘴推磨、贼没廉的货、怪火燎腿三寸货、贼牢拉负心短命			
T3	a. 形容詞修飾句	黄猫黑尾巴的心、精油嘴的东西、贼三等儿九格的强人、刁钻的强盗、怪牢成久惯的囚根子、滲的货、贼油嘴的囚根子、好个汗邪的货、我的儿 x2、不顺脸的货儿、鼠腹鸡肠的心儿、少死的贼短命 x2、汗邪的油嘴、汗邪了你	贼积年久惯的囚根子、怪尖嘴的贼囚根子	雌的那牙、贼少死的王八、狠心的贼、光棍的行货子	恁尖酸的没槽道、我的孩子儿、汗邪你这贼花子、汗邪你了 x2、汗邪了你这花子
	b. 動詞修飾句	死无葬身之地、合瞎了他的眼来、合你家爱娘子、负心的囚根子、牢拉的囚根子、说嘴的货 x2、脸上有狗毛、小孩儿没记性、没廉耻宽家、没才料的货、没廉耻的货、没廉耻的货、没天理的囚根子、没天理的短命囚根子、没廉耻的囚根子、没廉耻的货儿	犯死的奴才、猷勤的囚根子、人皮包着狗骨、砑说嘴的囚根子、弑番猷勤欺主的奴才、没廉耻的货、图躡的狗尾儿	咬人的狗儿不露齿、路死的囚根子、变驴的和尚	汗邪了你恁胡说、不知死的囚根子
	c. 動詞、形容詞修飾句	贼没廉耻撒根基的货、贼作死的强盗、贼不逢好死变心的强盗、贼跌折腿的三寸货强盗、贼不合钮的强人、贼不逢好死的强人、好负心的贼、怪贼牢拉的短命、你负心的短命贼囚、老成久惯的短命大诰答子货、贼皮搭行货子、不上芦苇的行货子、没羞的黄猫黑盡的强盗、贼没	贼万杀的小奴才、贼猷勤的奴才、贼见鬼的囚、没羞的王八	贼饿不死的杀才、贼不逢好死的囚根子、贼合娘的小猢猻、贼提口拔舌见鬼的囚根子、好合的货、撒臭了你这王八	没羞的孩儿

		羞的货、贼没廉耻的货、贼没廉耻货 x3、贼没廉耻的昏君强盗、没羞的行货子、贼没廉耻的货 x2、没羞的货			
T4	a. 省略表現	短命的、合的、贼负心的、汗邪的、堕业的、贼牢成的、涎脸涎皮的、怪捣鬼牢拉的	不争气的	臊子合的、贼没算计的、王八雌牙露嘴的、贼眉竖眼的	怪攘刀子的 x2、怪刀攘的、不得人意的攘刀子的、攘刀子的
	b. 慣用表現	枉口拔舌、不知好歹、成精鼓捣、汗邪胡说、负心得贼、合神捣鬼	胡言乱语、犬马之言、胡说白道、小人啰唆	六说白道、胡言乱语、骗口张舌、秘脸弹子	不得人意、贼不得人意、活说乱道

●使用者が男性で対象は女性

		上→上	上→下	下→下	下→上
T1	a. 単一名詞	刁嘴、奴才 x2、淫妇 x25、秘尿、臭屎、行货子、粉头、咬蛆儿、淫妇儿	奴才 x5、淫妇 x2、强盗、歪刺骨儿	淫妇 x8、老爷 x2、私窠子、粉头、马伯六 x2、老狗	淫妇 x7、贱妇
	b. 複合名詞	淫妇鬓毛 x2	奴才老婆		
T2	a. 単一形容詞修飾	怪行货子、怪油嘴 x2、小淫妇 x9、贼淫妇 x7、好淫妇、怪奴才 x7、贼歪刺骨、小淫妇儿 x12、小搥刺骨儿 x2、贼奴才淫妇	贼淫妇、贼奴才 x3、小淫妇 x13、老淫妇 x8、怪油嘴、傻孩子、小行货子、老油嘴、小淫妇儿 x13、狗骨秃了、小歪刺骨儿、贼小肉儿、怪砣奴才	贼淫妇 x4、老淫妇 x2、老咬虫 x2、小粉头子、贼囚妇、焦尾靶、老猪狗 x3	
	b. 二重形容詞修飾	怪小奴才、怪小淫妇 x5、贼小淫妇、怪小油嘴 x2、好贼歪刺骨、贼贱淫妇、怪小淫妇儿 x11、贼小淫妇儿 x3、贼小油嘴儿、杜蛮婆老淫妇	贼小淫妇 x6、怪小淫妇、怪贼邈邈、怪小淫妇儿 x3、贼小淫妇儿 x8、贼胖秃淫妇、俊傻小刺骨儿、贼短命小淫妇	贼老淫妇、贼老咬虫、精油嘴老淫妇、黄猫儿黑尾	

	c. 動詞修飾	合死、胡说 x4、小油嘴胡说	胡说、少死得、成精奴材 x5、老淫妇胡说	胡说 x2、直我髻鬚、嚼舌头、老杀才	
T3	a. 形容詞修飾句	八十岁妈妈没牙、不贤良的淫妇、贼不是才料淫妇、无义的淫妇	饭毡的伙计、你娘那毡、汗邪了的奴才	瘟死鬼小奶奶儿门	
	b. 動詞修飾句		捣烂你做肉泥、没仁义的小淫妇	合你淫妇娘、做牵头的老狗肉 x2	
	c. 動詞形容詞修飾句		贼狗掇腿的奴才		
T4	a. 省略表現	贼嘴贼舌的、髻鬚合的	贼天杀的		
	b. 慣用表現	六说白道、胡说白道 x2、胡枝扯叶			不识羞耻

## ●使用者が男性で対象も男性

		上→上	上→下	下→下	下→上
T1	a. 単一名詞	花子 x5、狗材 x11、狗才 x5、厮、业障	厮 x17、蠢材、光棍 x8、贼人、奴才 x9、傻瓜、爹、臭死、苦虫、老狗、小厮 x2	蛮子、淫妇、忘八、厮、捣子、杀才、瞎子、狗口、天杀、奴才 x2、孙子儿、鬼嘴儿、厮狗、狗骨头	厮 x4、奸夫、狗官
	b. 複合名詞	狗材耳朵		秫秫小厮 x2	
T2	a. 単一形容詞修飾	傻孩子、小行货子、怪狗才 x3、怪狗材 x11、傻狗才 x3、贼花子 x2、怪花子、俊花子 x2、鬼混人、贼狗材、歪狗材、俊孩儿	贼奴才 x5、小奴才、精油嘴、贼短命、矮王八 x4、贼老狗、小狗秃儿、少死光棍	怪行货子、贼秫秫村、好淫妇 x3、老油嘴、蛮奴才 x2、怪花子、狗男女、贼油嘴、贼囚根子、老狗骨、贼秃囚、烂了屁股	贼花子
	b. 二重形容詞修飾	怪狗才东西	贼小油嘴 x2、贼狗骨秃儿、贼矮王八、好小狗秃儿、天灾人祸老油嘴、贼小奴才儿、小狗骨秃儿肉、好贼小油嘴、贼少死野囚军、贼小狗骨头儿	好贼捣子、奴才真贼、贼野囚奴、贼野狗死囚	贼秫秫小厮、贼狗男女、贼野蛮流民

	c. 動詞修飾	胡说 x8、休鬼混、 掬出去、忘诏刀了、 人皮包狗骨东西、 占小便盒儿	杀人贼、胡说	老婆养汉、含鸟猢 猻、合你屁股、胡 说 x2、奴才胡说、 怪倒路死猴人、狗 骨秃没廉耻	放屁、狗合、 撞见瘟死鬼
T3	a. 形容詞修飾句		少死的花子、小狗 骨秃儿的鬼、蠢头 村胸的秃驴、我的 儿	我的儿、烂了贼忘 八的屁股门子	少死的花子
	b. 動詞修飾句		没的扯淡		合的不值了、 没人论的猪 狗、合你道 士林林娘、 我合你娘的 眼、合你娘 眼、合你娘
	c. 動詞、形容詞修飾句	贼天杀的狗材、贼 没行止的狗骨秃	贼少打的奴才	贼狗攘的林林小厮、 贼天杀男盗女娼的 狗骨秃	
T4	a. 省略表現	天杀的 x2、贼 掐断了肠子的天杀的	天杀的 x2、狗啃 的、狗拘的	贼雌饭吃花子合的、 没廉耻皮脸的	
	b. 慣用表現	狗类之人			